

会 議 録

会議名	平成28年度 山陽小野田市男女共同参画審議会（第1回）	
開催日時	平成28年4月25日（月） 14時00分～15時30分	
開催場所	山陽小野田市役所3階小会議室	
出席者	池田 容子、石川 宜信、岡部 つや子、 福永 香代、棟久 佳子、大谷 春樹、 前田 良一、恒松 和也、実谷 裕子	委員数 12名 出席者数 9名
欠席者	吉村 公明、山本 シゲ子、村田 晴美	
事務局等	市民生活部長 佐久間 昌彦、市民生活課長 石田 恵子、 市民生活課長補佐兼人権・男女共同参画室長 山本 満康、 市民生活課主事 飯塚 淳子	
会議次第	1 開会 2 部長あいさつ 3 議題 (1) 「さんようおのだ男女共同参画プラン 平成27年度実績報告」および「さんようおのだ男女共同参画プラン 平成28年度実施計画」について (2) 男女共同参画に関する市民アンケートについて	
会議結果	1 開会 2 部長あいさつ 3 議題 (1) 「さんようおのだ男女共同参画プラン 平成27年度実績報告」および「さんようおのだ男女共同参画プラン 平成28年度実施計画」について (委員) 平成28年度実施計画 通し番号28について 現状値が職員1人あたりの時間外勤務時間116.5時間なのに、目標値が職員1人あたりの時間外勤務時間300時間以内となっているのは、おかしいのではないか。 (事務局) 現状値は職員の平均値であり、116.5時間となっているが、なかには300時間を越える職員がいる。目標値の300時間以内というのは、全職員が300時間を越えないようにという意味合いである。書き方からはその違いが分からないので、誰が見ても分かるような書き方に変更しようと思う。	

(委員)

平成 27 年度実績報告 通し番号 42、43 の間の罫線が必要ない。消すように。

平成 27 年度実績報告および平成 28 年度実施計画 通し番号 43 について実績報告と実施計画の文言を見比べると、平成 28 年度実施計画に「**DV 関係窓口との連携は 1 件**」という記載が消えているので、記載するように。平成 27 年度実績報告および平成 28 年度実施計画 通し番号 44 について実績報告と実施計画の文言を見比べると、平成 28 年度実施計画が「・家庭相談業務 41 回」となっている。正しくは「・家庭**児童**相談業務 41 件」ではないか。訂正してほしい。

平成 27 年度実績報告および平成 28 年度実施計画 通し番号 49 について実績報告と実施計画の文言を見比べると、平成 28 年度実施計画は「文書による啓発」となっている。正しくは「文書による啓発を**実施**」ではないか。訂正してほしい。

(事務局)

ご指摘のあったところは、訂正する。

(2) 男女共同参画に関する市民アンケートについて

(事務局)

アンケートは男女共同参画プランの改訂の参考とするため、平成 17 年、22 年にも実施されている。現在のプランは本来であれば、今年度末に改定するものだが、市の総合計画との整合性を図るため、2 年延長することとしている。しかし、配偶者等暴力に関する計画を、今年度末に策定しようと考えている。その計画の参考にもするため、今年度実施することとしている。前回アンケート実施時と比較して、市民の意識がどう変わっているか知りたいので、調査票の問 1～問 13 までは、若干の文言の修正はしているが、内容は変えていない。しかし、問 14 以降については配偶者等暴力に関する計画の策定のため、質問内容は前回アンケートのものより変更している。その内容について、みなさんから意見をいただきたい。

(委員)

前回アンケートの回収率はどうか。内容が難しいので、回答が集まらないのではないか。

(事務局)

前回のアンケートの回答は 1000 人に送って、374 人から回答をしてもらった。アンケート内容が難しく、回収率が低くなってしまっているのではないかとことは事務局も懸念している。しかし、これ以上簡単な内容に変更すると、こちらが把握したい内容が把握できない。回答する人は大変だと思う

が、これ以上簡単な内容にすることは難しい。

(委員)

問 14 の暴力の種類について

「たばこの火を押しつけられる」、「実家に帰らせてもらえない」といった内容の暴力も付け加えてもらえないか。

(事務局)

付け加えられるよう、前向きに検討する。

(委員)

配偶者等暴力に関する相談窓口を知らない人もいると思う。相談窓口を知っているかどうかを問う設問を設けてはどうか。

(事務局)

付け加えられるよう、前向きに検討する。

(委員)

問 4 について、テレビやニュースで、「夫婦別姓を名乗ることについて、どう思うか」という調査はあったが、「夫婦別姓を、自身が名乗りたいか」という調査がみられなかった。おそらく、世間一般的に、夫婦別姓を名乗る人がいてもいいのではないかと、ということについては、おおむね賛成が多いのではないと思う。しかし、実際に自分自身が夫婦別姓を名乗りたいという人がどのくらいいるのだろうか。私自身は夫婦別姓を名乗ることについて賛成だが、実際に自分自身に置き換えると、世間体や、必要性、子どもの姓をどうするかなどの点から、夫婦別姓を望まないかもしれない。夫婦別姓を必要としている人がどのくらいいるのか、知りたい気もするので、設問を加えられないか。

(事務局)

夫婦別々の姓を名乗ることに賛成かどうかに関する設問は今回新たに付け加えたものである。回答者自身が夫婦別姓を望んでいるかという一歩踏み込んだ設問が、市の計画を策定するときに必要かどうか、検討する。

(事務局)

今年度はあと 11 月頃と、2 月頃の 2 回審議会の開催を予定している。